

- 俳優・介護福祉士 菅原直樹による演劇と福祉の新しい可能性 -

「老いと演劇」の ワークショップ in 北千住

参加無料

2019 / **2 / 28** (木)

15:00-17:00

※受付開始は 30 分前より

シアター1010 アトリエ

東京都足立区千住 3-92
千住ミルディス I 番館 10F



- 「老いと演劇」のワークショップとは? -

演劇体験を通じて楽しみながら認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップです。参加者同士で認知症の人と介護者を交互に演じて、認知症の人の言動を否定せずに受け入れるコミュニケーションや、言動を否定されたときの認知症の人の気持ちを疑似体験してもらいます。実際に身体を使って演じることで、認知症ケアの気づきやヒントを講師と参加者間で共有していきます。その中から今回は2つのワークショップを行います。また、着席での見学も受付いたします。

- プログラム内容 -

・ 老いと演技

介護現場で実践されている演劇的手法
「遊びリテーション」を体験します。

・ 認知症と演技

認知症の人との関わりに演技は必要なのか?
コミュニケーションの本質に迫ります。

- 講師紹介 - 菅原直樹 (俳優・介護福祉士)



1983年栃木県宇都宮生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。現在、OiBokkeShi × 三重県文化会館による「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトが進行中。

- 申込方法 -

【参加者氏名】【人数】【所属（施設名等）】【電話番号】【見学ご希望の方はその旨】を以下の方法にてご連絡ください。

◇電話 TEL:03-5244-1011 (シアター 1010 チケットセンター)

◇メール E-Mail:workshop@t1010.jp (件名に「講演会参加の件」と記載ください。)

◇窓口 シアター 1010 10階窓口まで (9:00 ~ 20:00)

※受付開始は1月23日(水)10時から。定員はワークショップ参加 15名、見学参加 50名。ワークショップ参加は2月15日(金)に募集締切。見学参加は定員に達し次第受付終了。見学参加はお席に空きがあれば当日参加も可能です。

主催：足立区シアター 1010 指定管理者

お問合せ：シアター 1010 「老いと演劇ワークショップ in 北千住」係 (tel:03-5244-1011)